



2021年4月28日

各 位

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社
代表者名 代表取締役社長 日下 修一
(コード番号 5612)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 井澤 信之
(TEL 03-3546-7675)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当について決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件につきましては2021年6月18日開催予定の第117回定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり配当金	40円00銭	20円00銭	30円00銭
配当金の総額	128百万円	—	98百万円
効力発生日	2021年6月21日	—	2020年6月17日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、上下水道・ガス事業を中心とする公共性の高い業種であり、長期にわたり安定的な経営基盤の確立が重要であると考えております。従って配当に関しては、将来の事業展開に備えた内部留保に配慮しつつも、株主各位への安定的な配当を維持することを基本方針としております。期末配当の決定機関は株主総会であります。

当連結会計年度においては、自己株式の取得を行い、総還元性向を高めるように努めて参りました。そうした中、第1四半期に1株あたり20円の配当予想を公表させていただいて以来、業績動向と総還元性向をにらみつつ、第3四半期においては、年度業績を見極めた上で、改めて見直しを検討する旨お示しさせていただいております。決算短信に記載の2021年3月期の業績（親会社株主に帰属する当期純利益6億61百万円）が得られたことを踏まえ、財政状況と総還元性向の側面のみならず、基本方針で示しております「安定的な配当」という視点も鑑みつつ、熟慮を重ねた結果として、期末配当は、当初公表値の2倍にあたる1株あたり40円といたします。これは総還元性向で35%となるものです。

以 上